

資料No.3

令和6年度 第1回総合計画等審議会における質疑に対する回答

1	委員氏名	桐田副会長	回答課	健康づくり課
	資料 No.	資料No.1	ページ	11
	質疑内容	<p>健康づくりの分野の「高血圧有病者の割合」について、令和5年度実績値に令和3年度の実績値を活用している理由は、 2年遅れの実績値を反映しているのはわかりづらいので、表記の方法も検討してほしい。</p>		
	回答	<p>死亡や要介護の原因となる循環器疾患の予防するため、高血圧や糖尿病等の生活習慣病予防及び重症化予防に取り組んでいる。当町では、特定健診の結果、高血圧の有所見者率が高いことから「高血圧有病者の割合の減少」を目標値とした。 静岡県が発行する「特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書」は、令和5年度に令和3年度の健診データを分析した結果が公表されるため、2年遅れの数値となっているが、国保と社保の健診を集約した唯一のデータであるため、本報告書を活用している。 実績値の表記の方法については、他の目標と表記方法を統一させるため、実績値の下に記載の年度を削除する。</p>		
2	委員氏名	田中会長	回答課	企画課
	資料 No.	資料No.1	ページ	16
	質疑内容	<p>商工業の分野の「製造品出荷額」について、令和2年度と3年度、令和4年度と5年度に同じ数字が入っている。 同様に「商品販売額」についても、令和2年度と3年度、令和4年度と5年度に同じ数字が入っている。 データがなく、前年度の数字が入っていると思われるが、その場合、データのない年度は「-」にしないと勘違いする可能性がある。</p>		
	回答	データのない年度については、「-」の表記で統一する。		
3	委員氏名	白石委員	回答課	企画課
	資料 No.	資料No.1	ページ	20
	質疑内容	公園・緑地・水辺の分野において、ハード整備に係る目標が記載されていないので、検討をお願いしたい。		
	回答	<p>主な分野の目標として「緑化イベント参加者数」を掲載しているが、ハード整備についても実施計画事業としては目標を設定している。 第6次吉田等総合計画前期基本計画においては、能満寺山公園の整備について目標として記載している。 今後、総合計画に関する評価調書を作成する際は、掲載されている主な実施計画事業だけでなく、すべての実施計画事業において評価を実施する。</p>		

	委員氏名	桐田副会長	回 答 課	学校教育課
	資 料 No.	資料No.1・資料No.2	ペ ー ジ	24・21
4	質疑内容	<p>学校教育の分野の「全国学力・学習状況調査の県平均正答率との差」について、「教職員は、児童生徒に対して、知識や技能を定着させるための適切な指導を行うよう努めているが、全国学力・学習状況調査の結果に十分に反映させることができなかった」と評価している。</p> <p>一方で、資料No.2のP.21魅力ある教育システムの構築と質の高い教育の充実の分野の「住民が学校教育の充実に満足している割合」について、「各学校の実情に合わせて支援員を配置したことにより、教職員が授業等に専念できる環境を整えることができた」と評価している。</p> <p>この2つの内容は矛盾しているのではないかと思う。また、なぜ全国学力・学習状況調査の結果に反映しないのか。</p> <p>担当課と協議して、明確な回答をいただきたい。</p>		
	回 答	<p>上記の2つの内容が矛盾しているのではないかという御指摘に対しましては、「支援員の配置により、教職員が授業等に専念できる環境を整えること」は、それにより「教職員が児童生徒に対して、知識や技能を定着させるための適切な指導に努めることができる環境整備」につながっていると考えていますので、その点では矛盾する内容という捉え方はしておりません。</p> <p>また、「なぜ全国学力・学習状況調査の結果に反映しないのか」という御指摘に対しましては、「適切な指導に努めている」ことが、「(全国学力調査に対応できる)適切な指導がなされている」ことに、必ずしもなっていないこともあるのではないかという仮説的な捉えをしております。</p> <p>I C Tが導入され、先生方は子供たちが自ら主体的に学ぶ授業づくりに工夫を凝らし、その結果、子供たちの学びに向かう姿勢はこれまで以上に高まっています。ただし、そうした子供の主体性が、本当に考えさせたい教科の本質的な内容や、見方、考え方の変容といった、学びの質の深まりや高まりに向かっているかと言えば、必ずしもそうではないことがあるかもしれません。</p> <p>もしそうであるとすれば、今後はそうした子供の学ぶ意欲を大切にしながら、学習指導要領で求められる学力（見方、考え方・学び方・知識、技能等）を育むためのI C T活用の在り方を含め、今一度教科の本質に迫る授業改善を進めることを通して、「適切な指導」の質を高めていくことが必要であると考えます。</p>		
5	委員氏名	白石委員	回 答 課	生涯学習課
	資 料 No.	資料No.1	ペ ー ジ	25
	質疑内容	<p>有形文化財の保護だけでなく、無形文化財の保護についても検討していただき、文化財保護に努めてほしい。</p>		
	回 答	<p>無形文化財については、それぞれの保存会や実施者の方に保護や運営などを行っていただいております。</p> <p>教育委員会といたしましては、催事等の事前周知や活動報告などについての協力を行うほか、有形文化財と同様に保存会の方などへ現状についての聞き取りを行うなど文化財の保護に努めてまいります。</p>		

6	委員氏名	田中会長	回答課	学校教育課
	資料 No.	資料No.2	ページ	21
	質疑内容	<p>魅力ある教育システムの構築と質の高い教育の充実の分野の「住民が幼児教育の充実に満足している割合」について、目標値の80.0%に対して、実績値が39.1%である。</p> <p>幼児教育の対象でない人に調査した結果の数字を使うことに疑問を感じるので、調査方法について担当課と協議してほしい。</p>		
回答	<p>KPIの指標としている「住民が幼児教育の充実に満足している割合」は、「まちづくりに関する住民意識調査」から数値を算出しており、この調査の対象には、幼児教育の対象でない人も含まれていることから、「わからない」と回答した人が多く、その結果、数値が低くなっているものと思われます。</p> <p>今後は、幼児教育の対象でない人を除くなど、調査方法等について検討していきたいと考えています。</p> <p>※令和5年度実績値に誤りがありましたので、下記のとおり修正します。 【誤】39.1% → 【正】38.7%</p>			
7	委員氏名	鈴木委員	回答課	福祉課
	資料 No.	資料No.2	ページ	27
	質疑内容	<p>地域密着型介護サービスの充実の分野の「介護老人施設の入所待機者数」について、目標値の0人に対して、実績値が5人である。</p> <p>入所者の方の状況等により施設の空き状況は変化するが、待機者の方がどのくらいの期間待っているのか気になる。</p> <p>在宅サービスを利用し、在宅サービスの限界を感じてから入所することが、現在の地域包括ケアシステムである。</p> <p>入所までの待機期間における状況等についても検討してほしい。</p>		
回答	<p>入所希望者の待機期間については、調査時点で地域密着型介護老人福祉施設に空きがあっても、それ以外の施設への入所希望をしている等の状況があるため、一概には言えませんが、今回の実績値5人の待機期間は最短2日、最長179日、平均54日でした。</p> <p>このKPIの考え方は、地域密着型介護老人福祉施設を設置することで入所希望者の待機者の削減に寄与しようとするものであります。</p> <p>現在、高齢者保健福祉計画介護保険事業計画において、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護の見込量を、令和5年の実績値24人に対し、令和8年度時の見込量を27人としていますが、今後、入所定員不足に起因し、入所希望者の待機期間が著しく長期化する状況が見込まれるようであれば、更なる検討が必要であると考えております。</p>			